



あかね

今年度より、患者さんの知識を増やしていき、健康生活に役立てて頂けるようにと、広報誌を発行することとなりました。第1回目は受診をする際にいち早く自分の事を知ってもらえる内容となっています。

自分(家族)用簡易カルテの作成と携帯のススメ

内科診療部長 前田 憲吾

毎日、外来や救急室に多くの患者さんが来られます。特に、救急で来られる場合、私たち医療スタッフも要領よく患者さんの情報を集めなければなりません。しかし、診察や処置があり、さらに次から次へと救急受診依頼が来る場合、完全な情報収集を行うことは時間的にも困難なことがあります。来院された患者さんやご家族も、緊急事態に慌てふためいて、正確なことを伝えられないこともあります。しかし、「情報」が不完全であれば、診断や処置が遅れたり、「使ってはいけない」薬を使ったりして、医療事故を起こすことにもつながりかねません。最近、患者さんの皆さんは「お薬手帳」は持参されることが多いのですが、今までの病気やケガ、治療歴などは、こちらが尋ねないとわかりません。できれば以下のような事柄を、日頃からまとめておいて、保険証やお薬手帳とともに持参していただくと、治療が速やかに始められ、医療事故も減るのではないのでしょうか？例えば、「意識がなく倒れている」患者さんが来られれば、脳の病気か、と思いますが、「糖尿病でかかっている」という「情報」があれば、速やかに血糖測定を行い、低血糖などを見つけることができます。自分の体は自分で守る、そのための一助になればと思い、皆さんにご提案いたします。

例

氏名：五智 一郎（ごち いちろう）

生年月日：昭和24年5月23日

血液型：A型Rh（+）

既往歴：21歳 虫垂炎（手術）、44歳 右尿管結石、50歳 高血圧
52歳 糖尿病、55歳 心筋梗塞（ステント）

家族歴：父 胃癌、母 糖尿病、姉 狭心症

生活歴：飲酒 缶ビール1本毎日、喫煙 19歳から1日20本程度、職業 建設業

かかりつけ：〇〇病院内科△△先生

定期薬：アムロジピンOD（5）1錠、ディオバン（80）1錠、メトグルコ（250）3錠、
バイアスピリン（100）1錠、プラビックス（75）1錠

アレルギー：喘息（-）、花粉症（-）、造影剤（-）、ペニシリン系（+）

感染症：梅毒（-）、B型肝炎（-）、C型肝炎（-）、HIV 未検

健診歴：最終 平成29年6月5日

心肺停止の時に：救命（延命）処置は不要です。救急車は呼ばないで。

臓器提供について：臓器提供しません



編集後記：平成30年4月より、当センターから患者さん向けの広報誌を発行することとなりました。皆様の興味関心のある情報について発信できるような内容にしていきたいと思っております。暖かくご支援くださいますようお願い致します。

発行元：広報委員会（長岡）

